

令和3年度東京都ジュニア柔道体重別選手権大会（女子）
 （兼、JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 東京都予選会）要項

- 1 主 催 公益財団法人東京都柔道連盟
 2 日 時 令和3年7月11日（日）開場 8時15分 開会式 9時30分
 3 会 場 講道館 文京区春日1-16-30 TEL 03-3818-4171
 4 参加資格 (1) 日本国籍を有し、令和3年6月10日までに、東京都に在住・勤務・在学のいずれかにより、
 （公財）東京都柔道連盟を通して、（公財）全日本柔道連盟に登録を行っている者。
 (2) 平成13(2001)年1月1日以降、平成18(2006)年12月31日以前の出生者
 ※令和3(2021)年中に15歳～20歳になる者。
 (3) 選手は初段以上の者。但し、女子中学生はこの限りではない。
 (4) 体重区分 7階級

48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	78kg級	78kg超級
-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

- 5 参加人数 (1) 警視庁、実柔連、学柔連、高体連に所属してない有段者は24地区から参加できる。
 参加人数の制限はないものとする。
 (2) 高校生は、東京都高体連柔道部が推薦した有段者であること。
 中学生は、東京都中体連柔道部が推薦し、なおかつ、親の承諾書が提出された選手
 で、主催者が認めた者に限る。
 6 試合方法 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。
 (2) 試合時間は4分間。優勢勝ちの判定基準は「技有」とし、規定時間の終了時にスコアが
 ない、もしくは同等の場合は時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア方式）により
 勝敗を決する。
 (3) 試合は、体重別各階級ごとに、トーナメント戦とする。
 敗者復活戦は行わない。但し、出場選手決定戦及び補欠決定戦を行う。
 7 表 彰 各階級のベスト4を表彰する。但し、申込人数により変更する場合がある。

- 8 参加申込 (1) 申込締切 6月10日（木） **6月14日（月）**
 (2) 申込方法 都柔連ホームページより申込書をダウンロードし、メールに添付して提出
 申込み用アドレス：moshikomi@tojuren.or.jp
 (3) 参加費 4,000円
 【支払方法】大会終了後、都柔連より請求書を発送、指定口座に振り込み
 (4) 問合せ先 （公財）東京都柔道連盟
 月・水・金 03-3818-5639 / 火・木 080-3487-8054（担当：佐々木）

9 組 合 せ 6月14日（月） **6月16日（水）** 東京都柔道連盟事務所で行う。関係者以外立入禁止。

- 10 保 険 (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。
 尚、万一の事故の発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の
 事故対策をたてておくこと。
 (2) 大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で
 責任を負うものとする。
 (3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。

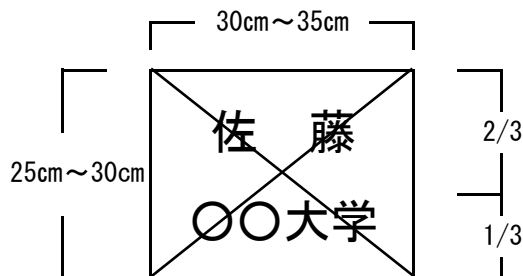
- 11 そ の 他 (1) 2021年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会への出場について
 ① 2019年度の全日本ジュニア柔道体重別選手権大会の各階級優勝者は、今年度の年齢
 条件を満たしている者に限り、推薦で同階級に出場できる。
 ② 2019年度の世界ジュニア選手権大会優勝者が同階級に出場する場合に限り、推薦出場
 できる。但し、年齢等により出場できない場合の補充は行わない。
 ③ 東京都代表選手として出場できる人数は下表の通りとする。

階 級	48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	78kg級	78kg超級	合計
出場枠	4名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	22名

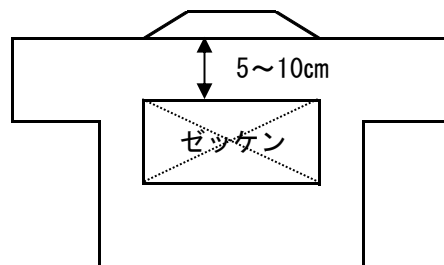
- ④ 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会出場者は全柔連指定柔道衣を着用すること。
 (2) 公式計量は、下記日程で超級を含め全階級実施する
 令和3年7月10日（土）18時～20時 講道館 新館2階 第4会議室 他
 なお、非公式計量は、17時30分～18時00分とする。

- (3) 大会を欠場する選手は、必ず医師または柔道整復師の診断書を主催者に提出するものとし、無届の欠場者は次年度の出場資格を失うものとする。
- (4) 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策について
- ①選手・監督をはじめ関係者全員に対し、大会当日2週間前からの健康記録表への記入を義務付ける。
 - ②当日受付にて検温を実施すると共に健康記録表の内容を確認する。
 - ③大会は無観客で実施する。
 - ④マスクについては、選手は試合時のみマスクを外すことができるが、その他関係者は常時マスクを着用すること。
- (5) 脳震盪対応について
選手および指導者は下記事項を遵守すること。
- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (6) 新型コロナウイルス感染症及び脳震盪について、感染者・受傷者が発生した場合は、速やかに大会事務局に報告すること。
- (7) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (8) 柔道衣・帯は、予選会につき全柔連指定以外の柔道衣でも認める。
- (9) 参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。所属名は、全日本柔道連盟に登録した団体名とし、広告付きゼッケンは不可とする。ゼッケンを取付けていない選手は、出場できない。
なお、ゼッケンの仕様と縫い付け方は下記の通りとする。
- ① サイズは、横30cm～35cm・縦25cm～30cm
 - ② 布地は白色（晒・太綾）
 - ③ 書体は太いゴシック体又は楷書で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色。
 - ④ 苗字（姓）は上側2/3、所属名は下側1/3
 - ⑤ 縫付の位置は、後ろ襟から5cm～10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付ける。

<図1>ゼッケンの縫い付け方



<図2>ゼッケンの縫い付け位置



- (10) 監督は審判員に準じた服装(ネクタイ着用)を基本とし、女性はそれに準じた服装とする。